



ふくしのわ

平成23年 夏号

もくじ

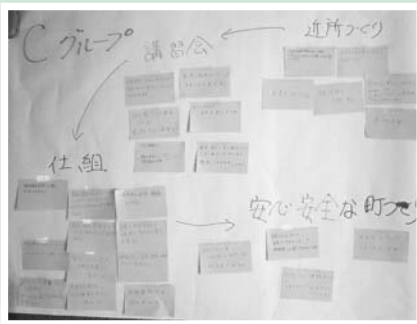
- P1 東日本大震災支援
- P2-3 特集「社会福祉協議会の23年度」
会長あいさつ・義援金報告
- P4-5 特集「社会福祉協議会の22年度」
- P6-7 行事案内
- P8 お知らせコーナー

「東日本大震災」被災地支援活動 vol.2

～無理せず、出来ることから、継続的な支援に向けて～

被災地への職員派遣

4月27日～5月4日までの間、職員1名を岩手県大槌町へ派遣し、現地災害ボランティアセンターの運営支援にあたりました。派遣期間がGW真っ最中ということもあって、全国から多くのボランティアが駆け付けるなか、被災者からのニーズ受付・マッチング・ボランティア派遣のコーディネートといった業務を、大槌町社協職員と本会同様に派遣された名古屋市・岐阜県の職員とともにチーム一丸になって取り組んできました。



災害時要援護者支援事業企画会議

5月23日(月)、東員町ふれあいセンターで、今年度の災害時要援護者支援事業に関するプログラムを話し合う場(会議)を開催しました。これまでは、職員間でプログラムを企画していましたが、今年度は、これまでの内容を、改めて多様な視点から見つめ直すことにしました。この大震災を受けて抱いた個々の率直な想いや、今自分たちができることなど、多くの参加者から様々な意見が発表され、多様な想いを皆で共有することができました。

絵葉書プロジェクト

被災地への職員派遣が縁で繋がりができたNPO法人グットネーバーズ・ジャパン(東京)の呼びかけに賛同し、東員町から60枚のメッセージ付絵葉書を現地(大槌町)へ送りました。絵葉書は、現地(大槌町)で被災者の方を対象に「配られた物を貰うだけ」の物資配給ではなく、数有る物の中から自分の欲しい物を選べるという『一日ショッピングモール』で『疑似通貨』として活用されました。小学生から90歳を超える方まで、自分に出来ることとして取り組んだメッセージ絵葉書に、現地の方はとても感動され、「買物よりハガキの方が嬉しかった」という多くの声を寄せていただきました。



運営方針

① 現状・課題

- ◆社会全体においては、貧困、虐待、孤立死、自殺、DV（家庭内暴力）被害、ホームレス、ニートなど、解決になかなか至らない深刻な生活課題が各地で噴出しています。
- ◆こうした問題発生には、少子高齢化、経済社会の変化などにより家庭、地域社会、企業等の相互扶助機能が急速に力を失ったことにあわせて、これら諸問題に対し、既存の社会保障・社会福祉制度が十分に対応しきれていないため、より問題を深刻化させています。
- ◆無縁社会という言葉に反映されるように、人と人、人と地域の絆が弱まり、個人主義的傾向が強く打ち出された結果、「お互いさま」の関係が減退し、支援が必要な人・支援をする人といった「人の二極化」が社会の中に浸透しています。

② 今後のあり方・方向性

- ◆かつての「ご近所さん付き合い」や「お節介者」の大切さを取り戻す必要があります。
- ◆こういった状況にあろうとも、誰もが、イキイキと、元気に、楽しく暮らしていくことができる環境を施設のバリアフリー化といったハード面でも整備しつつ、ソフト面でも、人の意識のなかに、家族同士、友達同士、ご近所同士、地域内同士が、互いに「お互いさま」の精神でもって、日頃から、顔の見える関係づくりに取り組む必要があります。

③ 平成23年度の目標

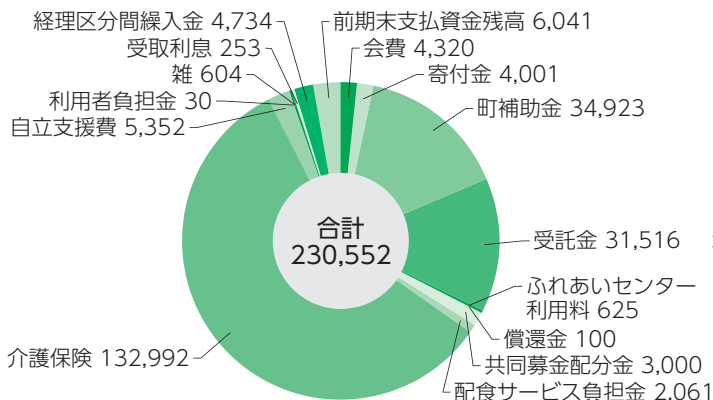
- ◆社会福祉協議会の全役職員が、地域から寄せられる課題や期待を十分に把握し、地域全体の奉仕者として使命感をもって業務を遂行します。
- ◆人と人、人と地域のキズナづくりを、あらゆる場面で意識しながら取り組みます。
- ◆誰もが、自分らしく生活し、自分がやりたいと思ったことがおこなえる環境、ボランティア（自主性）な想いが尊重される地域づくりに取り組みます。
- ◆判断能力の不十分な方々を保護・支援する成年後見制度について、今後、社協として担うべき部分を行政との協議も踏まえながら検討していきます。

予算

当初予算 230,552千円（前年比1%減）

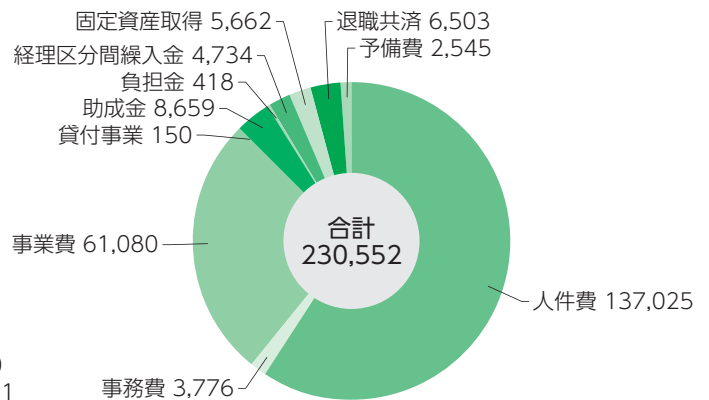
収入

(単位：千円)



支出

(単位：千円)



新役員（任期／平成23年4月1日～平成25年3月31日・敬称略）

平成23年3月に開催された理事会・評議員会において、次のとおり新役員（理事・監事）が選出されました。

- 会長・理事……三林 孝夫（大木）
- 副会長・理事…松原 康雄（笹尾西3丁目）
- 理事……………一色 俊男（南大社） 鷺見三重子（六把野新田） 藤原 淑子（笹尾西4丁目）
- 岩田 利弘（鳥取） 田中 博直（笹尾東1丁目）
- 近藤 和男（城山1丁目） 中村 次男（瀬古泉）
- 監事……………佐藤 美義（南大社） 近藤 満信（笹尾東2丁目）

会長あいさつ

このたび、東員町社会福祉協議会会長に就任いたしました三林孝夫と申します。よろしくお願い申し上げます。

今般、東北、関東地方では3月11日（金）、14時46分、東北太平洋沖を震源とする地震が発生し、その後の津波により甚大な被害状況となっています。被災地では、まだ多くの住民の方々が避難所生活を余儀なくされています。震災の犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

本会では、地震発生以降、町と連携し、義援金の募集・救護物資の仕分けボランティア活動、さらに災害復興支援ボランティア募集、被災地への職員派遣など、支援の輪の拡大に努めています。

また、一方で、近年、私たちの周りでは、急速な少子高齢化社会を迎え、家族構成や地域での人と人とのつながりは大きく変化してきており、介護保険制度改革、障害者自立支援法の施行に伴い、高齢者や障がい者を取り巻く施策も大きく変革していくなかで、住み慣れた地域での安全・安心な暮らしの実現や、地域福祉の推進や充実に期待が寄せられています。

このような状況のもと、地域福祉の中核を担う組織としての社会福祉協議会は、地域に密着した活動の一層の推進や、すべての住民の皆さんが安心して暮らせる地域社会づくりの取り組みを進めていかなければなりません。私もこれらの諸事業の推進に微力ながら精一杯努めて参ります。町民の皆様におかれましても、温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



東日本大震災 義援金活動報告

地震発生以降、町内6箇所の公共施設でご協力いただいております義援金の額は、6月6日時点で、3,625,573円にのぼり、全額を「日本赤十字社」に送金いたしました。

多くの皆様にご協力いただき、誠にありがとうございます。

義援金は、今後も継続して募集していきますので、多くの皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

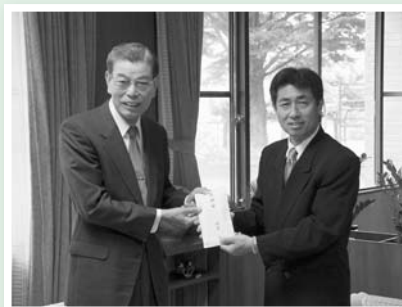
地震発生以降、様々な団体（あるいは個人）が、様々なところで義援金活動を展開されています

(1) 5月21日(土) 東員町共同募金委員会

カインズホーム桑名店で、「東日本大震災義援金」と「ボランティア活動支援金」の募金活動を行いました。ご協力いただいた募金額は総額71,772円でした。ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。

(2) 5月26日(木) 前町長 佐藤 均 氏

日本赤十字社三重県支部東員分区長の水谷俊郎町長に、東日本大震災義援金として100万円を寄付いただきました。



公告 ～社会福祉協議会の22年度～

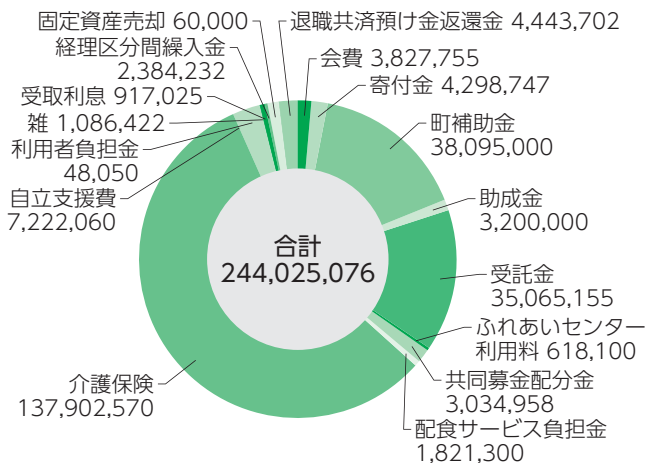
理事会（5月23日）及び評議員会（5月27日）において承認されました東員町社会福祉協議会の平成22年度事業報告・決算についてご紹介します。

決 算

収入合計 244,025,076円－支出合計 230,117,559円＝13,907,517円を、平成23年度に繰り越します。
 ※ただし、繰越金の13,907,517円のうち、4,488,198円は、東員町からの補助金及び委託料の残額として、平成23年度中に東員町へ返還します。

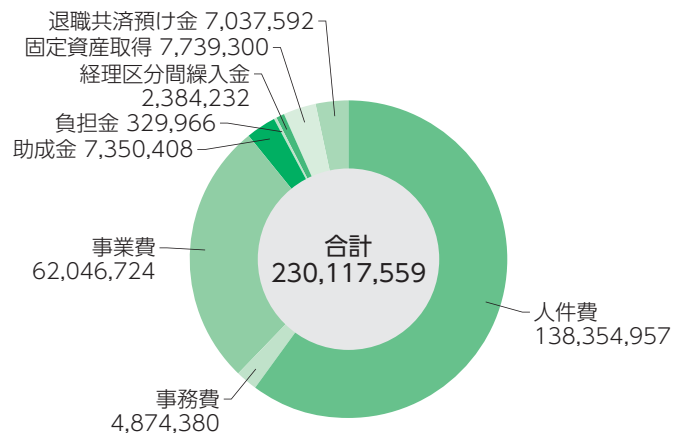
収 入

(単位：円)



支 出

(単位：円)



事業報告

平成22年度は、これまでの取組を、一層充実・発展させるため、行政、関係団体、ボランティア、NPOと、互いが対等のパートナーとして協働することに力を入れて取り組んでまいりました。誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らすことができる東員町を目指し、社会福祉協議会らしく、住民主体を基盤とする創造性・先駆性・柔軟性・開拓性を発揮した活動内容の概要をご紹介します。

■ 社協組織の充実と強化

- ①理事会（年3回）・評議員会（年2回）・監査（年2回）
- ②戸別会員（5,754世帯）・特別会員（951口）の加入促進・寄付金の受付及び管理
- ③災害時の対応対策（年1回避難訓練を実施）

■ 地域福祉活動推進のための啓発

- ①広報誌（ふくしのわ）の発行（年4回）
- ②ホームページの運営（閲覧数88,171件）

■ 東員町ふれあいセンター指定管理者業務

- ①施設の利用（予約）受付（延べ26,445名利用）

■ 低所得者の更生援護

- ①生活福祉資金等の貸付（相談21件・新規貸付3件・継続償還指導2件）
- ②法外援護の実施（2件）

■ 高齢者の生きがいづくりの推進

- ①シニアサークル（延べ4,159名参加）
- ②ふれあい交流会（9クラブ・578名参加）
- ③シニアカレッジ（受講生／教養27名・地域福祉20名・IT20名）
- ④シニアスポーツ（ゲートボール・グラウンドゴルフ・パークゴルフ・ユニカール・ペタンク・ゴルフ）
- ⑤囲碁将棋フリースペース（47日・延べ866名参加）

■地域福祉活動団体への活動支援

- ①民生委員児童委員協議会・共同募金委員会の活動支援及び助成
- ②日本赤十字社社資増強運動の実施(社資5,789世帯・社資額2,894,500円)

■当事者団体の育成支援

- ①活動費の助成(23団体)
- ②各種団体との協働事業の実施…東員町高齢者のつどい・東員町シニア文化作品展・シニアcafeなど

■地域での自立生活の支援

- ①ふれあい会食サービス(年2回・90名参加)
- ②生活支援型配食サービス(年4,893食)
- ③ふれあい型配食サービス(年1,294食)
- ④在宅重度障害者への助成(53名)
- ⑤ひとり親家庭教育費助成(32世帯・51名)・ひとり親家庭入学卒業祝金の給付(24名)
- ⑥ひとり親家庭歳末たすけあい図書カードの交付(64世帯・97名)
- ⑦ひとり暮らし高齢者交流会(37名)
- ⑧歳末応援費の交付(ひとり暮らし高齢者273名・生活保護世帯3名)
- ⑨心配ごと相談(年14件)・無料法律相談(年67件)・福祉相談(年14件)
- ⑩福祉用品リサイクル事業(提供16件・希望11件・調整完了10件)
- ⑪介護タクシー助成(24名)
- ⑫セルフディフェンス講座(年6回・200名参加)
- ⑬車椅子・スロープ無料貸出(年80件)
- ⑭地域権利擁護事業(新規申請1件・相談3件)
- ⑮家族介護継続支援事業(リフレッシュルーム39名参加・専門職との意見交換会2回)
- ⑯家族介護教室(42名参加)
- ⑰介護予防事業(講習会35名参加・健康塾延べ263名参加)

■地域ネットワーク組織化の支援

- ①愛の一声サービスの実施
- ②災害時要援護者支援講習(56名参加)
- ③地域ケア人材育成事業(回想法40名・傾聴45名・ネイルアート25名参加)
- ④子育て応援ルーム(延べ870名利用)・子育て親子手づくりおやつ教室(年3回・106名参加)
- ⑤子育て(ち)cafe(年11回開催)・子育てサポート講座(18名参加) 広報ハイハイの発行(年3回)
- ⑥共同募金委員会との協働(募金実績3,653,701円)
- ⑦災害ボランティアセンター研修事業(年2回)・東日本大震災被災地支援活動(義援金募集など)
- ⑧福祉教育活動助成事業(小学校6校)

■ボランティア市民活動支援センターの設置・運営

- ①とういんボランティア市民活動支援センター運営委員会の活動支援
- ②ボランティア・市民活動団体への活動助成(16団体)
- ③三重県NPO支援機能強化事業の受託

■介護保険事業及び介護予防事業

- ①訪問介護事業・介護予防訪問介護事業(訪問回数7,815回 訪問時間6,490時間・ヘルパーMT年11回)
- ②通所介護事業(稼働日308日 延べ利用者8,212名)・介護予防通所介護事業(延べ利用者576名)
- ③居宅介護支援事業(延べケアプラン作成数1,465件)

■障害福祉サービス事業

- ①障害者訪問介護事業(訪問回数1,002回 訪問時間864時間)
- ②地域活動支援センター事業(延べ利用者316名)

■東員町からの受託事業

- ①生活支援ホームヘルプ事業(利用回数19回 利用時間19時間)
- ②介護予防事業特定高齢者施策通所型サービス(延べ利用者2,395名)

特別会費

皆様のご協力をお願いします

募集期間 7月4日(月)～8月31日(水)

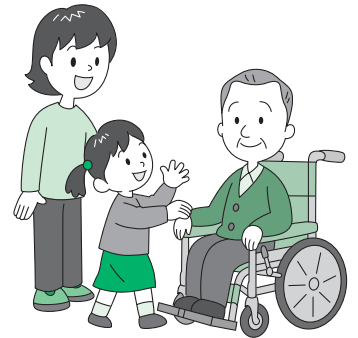
会費額 1口1,000円からお願いいたします

申込方法 指定の申込書に会費を添えて、社会福祉協議会
または笹尾連絡所へお届けください

行事案内 参加者募集

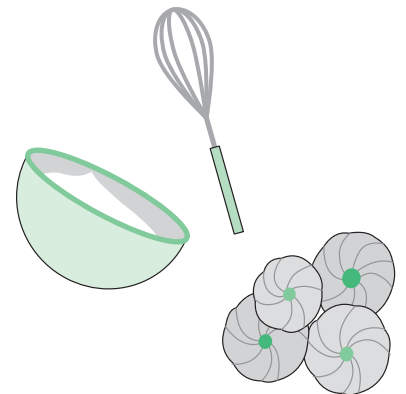
平成23年度 東員福祉まつり ～出展者募集!!～

日時 11月6日(日)【少雨決行】
場所 東員町ふれあいセンター 周辺
対象 東員町内でボランティア（自主的）に取り組む活動であれば、どのような方でも出展できます！詳しくは、下記までお問い合わせください。
申込 専用の申込用紙を、7月末日までに下記へ提出してください。
問合せ 東員福祉まつり実行委員会 (☎76-1560)



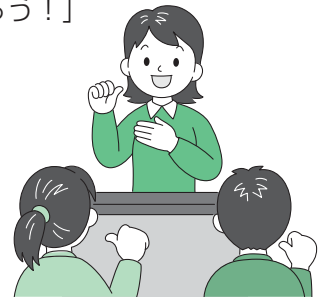
子育て親子 手づくりおやつ教室 ～にんじんクッキー・チョコ風味ミルク寒天～

日時 7月14日(木) 10:00～11:30
場所 東員町保健福祉センター 2階 栄養指導室
対象 就園前のお子さんと親御さん
参加費 1組300円
持ち物 ふきん・エプロン・三角巾・持ち帰り容器
定員 15組程度(先着順・託児あり)
申込 氏名(大人・子ども)・子どもの年齢・電話番号を社会福祉協議会へ



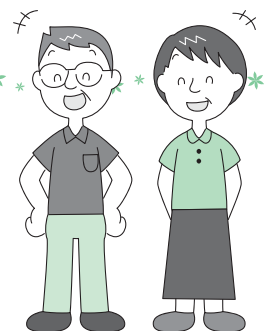
手話教室 初心者対象

日時・内容 9月 6日(火) 10:00～12:00…「手話とはなに？ろう者と手話を知ろう！」
9月13日(火) 10:00～12:00…「手話をやってみよう！①」
9月20日(火) 10:00～12:00…「手話をやってみよう！②」
9月27日(火) 10:00～12:00…「手話でゲームを楽しもう！」
場所 東員町ふれあいセンター
対象 手話に関心のある方ならどなたでも
定員 10名程度
申込 住所・氏名・電話番号を東員町身体障害者福祉会 (☎76-1560) まで



ひたすら笑って元気になろう「笑いの健康教室」

日時 7月28日(木) 10:00～11:30
場所 東員町ふれあいセンター
参加費 無料
申込 7月22日(金)までに社会福祉協議会へ

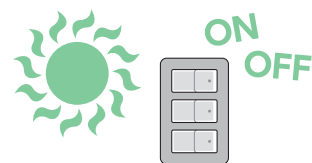


ともに昭和を語るための「回想法セミナー」

日時 7月26日(火) 13:00～16:00
場所 東員町ふれあいセンター
参加費 無料
申込 7月22日(金)までに社会福祉協議会へ

暑い夏を健康でのりきるための「熱中症予防と節電教室」

日時 7月20日(水) 10:00～11:15
 場所 東員町ふれあいセンター
 参加費 無料
 申込 7月15日(金)までに社会福祉協議会へ



介護者リフレッシュ事業 リフレッシュマッサージ・おしゃべり会

日時 10月27日(木) 9:30～12:30
 場所 東員町ふれあいセンター
 内容 疲れた体をマッサージでほぐしましょう！
 介護者同士、ゆっくりおしゃべりしましょう！
 ※終了後、有志でおしゃべり会も開催！
 参加費 無料 ※初めての方はボール代400円が必要。
 申込 前日までに社会福祉協議会へ
 備考 交通手段にお困りの方は申込時にご相談ください。



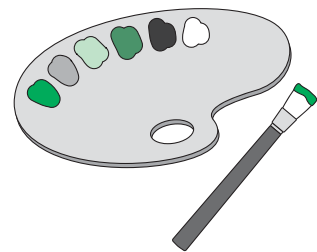
平成23年度 東員町高齢者のつどい (第6回 東員町シニア福祉大会・第18回 東員町シニア芸能大会)

日時 10月7日(金) 開場12:30 開演13:00
 場所 東員町総合文化センター ひばりホール
 内容 第1部：福祉大会〔挨拶・表彰〕
 第2部：芸能大会〔カラオケ・演芸一般〕
 備考 ・来場者には先着順で記念品を贈呈します。
 ・芸能大会「演芸一般部門」では、一般から出演者を公募します。
 詳しくは、下記までお問い合わせください。
 問合せ 東員町シニアクラブ連合会 (☎76-1560)



第7回 東員町シニア文化作品展

日時 9月30日(金) 午後～10月10日(祝)まで
 場所 東員町総合文化センター 2階 展示コーナー
 内容 絵画・書道・手編み・陶芸など、文化作品の展示
 出展 出展者を広く公募します。 詳しくは、下記までお問い合わせください。
 問合せ 東員町シニアクラブ連合会 (☎76-1560)



秋季シニアグラウンドゴルフ大会

日時 9月15日(木) 開会9:00 ※予備日9月22日(木)
 会場 東員町スポーツ公園 多目的グラウンド
 対象 町内在住の60歳以上の方
 定員 140名(定員に達し次第締切)
 申込 8月末日までに、氏名・住所・年齢・電話番号を社会福祉協議会まで



お知らせコーナー

このコーナーへの掲載を希望する方は、社会福祉協議会 (☎76-1560) へご連絡ください。

(福祉・ボランティア・市民活動以外の内容や、政治・宗教・営利目的の内容は除きます。)

『ひとり親家庭』対象『教育費の助成』を行います



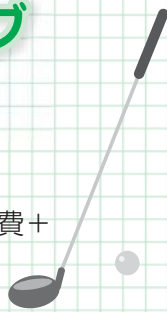
対象者 ひとり親家庭の児童・生徒で、小学校から高等学校に在学する方
助成額 1人あたり年20,000円
提出書類 「ひとり親家庭等教育助成金交付申請書」と「委任状」
提出期限 8月15日(月)〔提出期限後の受付不可〕
提出先 社会福祉協議会(担当:水谷)

福祉まつり実行委員を募集します



対象 平日昼間に開催される実行委員会に参加できる方(年6回程度)
定員 2名程度 ※締切:7月15日(金)まで
内容 福祉まつりの企画立案、広報活動など ※詳しくはお問い合わせください
問合せ先 東員福祉まつり実行委員会 (☎76-1560)

東員ゴルフクラブ 会員募集



対象 60歳以上の町民
会費 年1,000円
 ※コンペ時は別途参加費+プレー代が必要
問合せ先 伊東 (☎76-8944)

ふらわあ〜びれっじ 日曜朝市



日時 毎月第1・3日曜日 8:00~10:00
場所 ふらわあ〜びれっじ
 (東員町ふれあいセンター 東)
問合せ先 ふらわあ〜びれっじ運営協議会
 (☎76-3414)

ホームヘルパー2級養成研修 受講生募集

高齢者や障がいのある方々の「より良い生活」を支援するホームヘルパー。「家族や地域の人々のために」というあなたの想いを資格に結び付けてみませんか?

日程 7月30日~12月24日までの毎週土曜日(一部除く)
場所 東員町ふれあいセンター
定員 20名(定員に達し次第締め切り)
申込資格 16歳以上で福祉に熱意のある方
受講料 70,000円
申込方法 興味のある方は、まず資料請求をしてください。
問合せ先 社会福祉法人いずみ(担当:吉田 ☎76-4126)

「心配ごと相談」「無料弁護士相談」をご活用ください

心配ごと相談

● 笹尾コミュニティセンター

7月17日(日) 10:00~12:00
 8月21日(日) 10:00~12:00
 9月18日(日) 10:00~12:00

● 東員町ふれあいセンター

7月 5日(火) 9:00~11:30
 7月25日(月) 9:00~11:30
 8月 5日(金) 9:00~11:30
 8月25日(木) 9:00~11:30
 9月 5日(月) 9:00~11:30
 9月26日(月) 9:00~11:30

無料弁護士相談

● 笹尾コミュニティセンター

7月17日(日) 10:00~12:00
 8月21日(日) 10:00~12:00
 9月18日(日) 10:00~12:00

※事前に総務福祉係までお申し込みください。(☎76-1560)